

ジェットロ「ビジネス短信」添付資料

欧州委員会は、2011年より重要な原材料（Critical Raw Material）一覧を公表しており、3年ごとに改定している。鉱種の選定にあたっては、経済上の重要性（注1）と供給リスク（注2）を基準としており、将来の動向は考慮していない。2020年度版の改訂で、ボーキサイト、リチウム、チタン、ストロンチウムが追加され、ヘリウムは除外された。

（注1）経済上の重要性とは、産業界における原材料の最終利用への配分に基づく要因。

（注2）供給リスクとは、主要な原材料のEUへの特定国からの供給の集中度合いや、世界的に見た供給国における原材料の産出の集中度合い、さらに環境面やリサイクルの寄与、代替品の有無、EUの輸入依存や第三国への貿易制限などを含む供給国のガバナンスに考慮した要因。

2020年度版重要な原材料（Critical Raw Materials）一覧

アンチモン	ハフニウム	リン
バライト	重希土類	スカンジウム
ベリリウム	軽希土類	金属シリコン
ビスマス	インジウム	タンタル
ホウ酸塩	マグネシウム	タングステン
コバルト	天然黒鉛	バナジウム
原料炭	天然ゴム	ボーキサイト
蛍石	ニオブ	リチウム
ガリウム	白金族	チタニウム
ゲルマニウム	リン鉱石	ストロンチウム

（出所）欧州委員会